

“働くを変える”本気で実践！テレワーク

利便性、安全性、コストのバランスを考慮した「最適解」とは？

BITS 2016

NIHON UNISYS GROUP BUSINESS & ICT STRATEGY FORUM

Foresight in sight

UNISYS

エス・アンド・アイ株式会社
マーケティング本部
足田 和可奈

エス・アンド・アイ株式会社

Foresight in sight

【設立】

1987年、日本アイ・ビー・エム株式会社と住友電気工業株式会社との38%ずつの出資により「ネットワーク専業インテグレーター」として設立。

【株主】

UNIADDEX



【拠点】

東京本社
名古屋営業所
大阪営業所
福岡営業所



【社員数】 172名（2016年4月時点）



テレワークの状況

Foresight in sight

推進の背景：

- 少子高齢化
- 女性活躍推進
- ワークライフバランス向上
- 地方創世

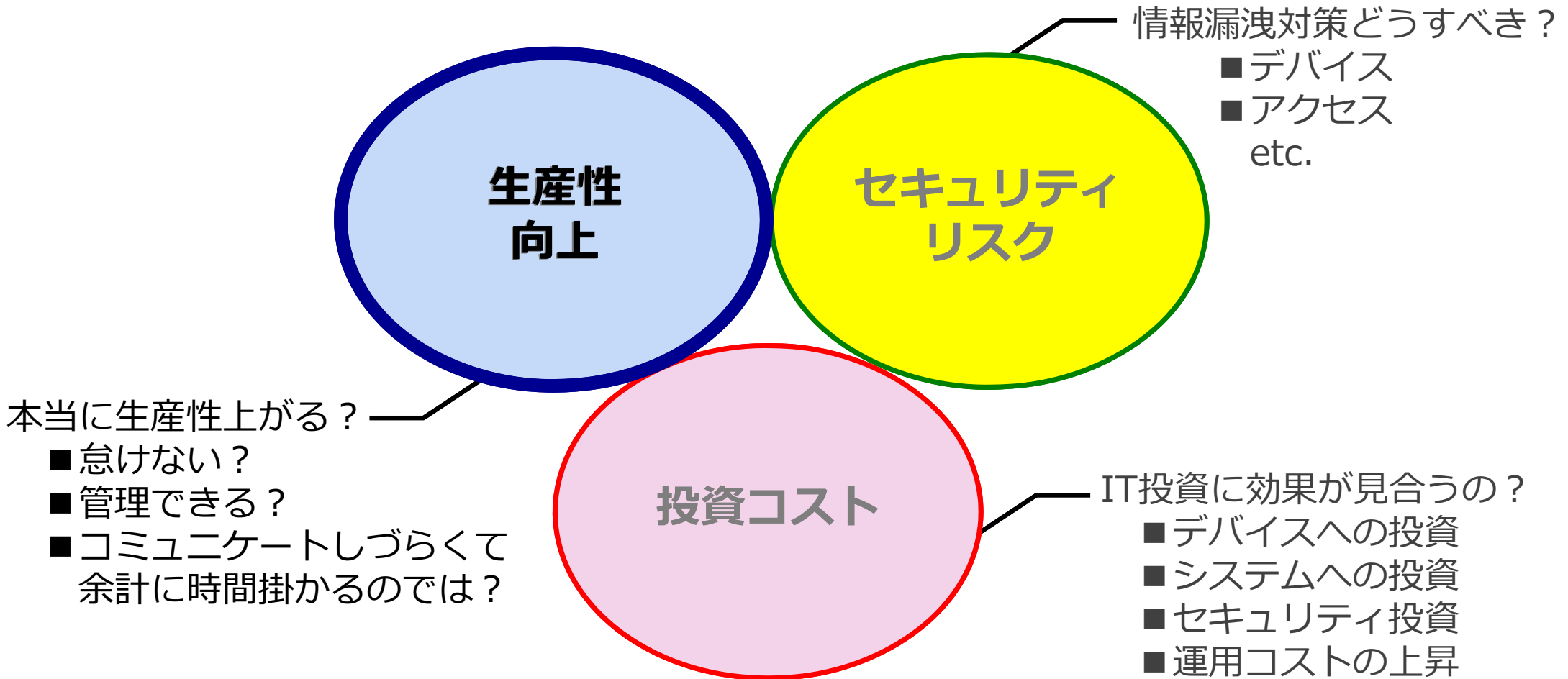


KPI (2013年 世界最先端IT国家宣言)：

- テレワーク導入率を3倍に (2012年 11.5% → 2020年 35%)
- 週1日以上終日在宅で就労する雇用者 (2012年 4.5% → 2020年 10%)

企業がテレワークを導入する主な目的：

- 優秀な人材の確保
- 生産性の向上
- 通勤時間短縮による疲労軽減
- 福利厚生的施策による社員満足度向上



Office 365/SfB 売れてます！導入/検討する企業の急増

Foresight in sight

 Office



 Exchange

メール
スケジュール
会議室予約

 Office 365

 SharePoint
ファイルストレージ

プレゼンス
チャット
音声通話
ビデオ会議
画面共有

 Skype for Business

コラボレーションツール導入のステップ

Foresight in sight

使い慣れたWindows/Outlook/Officeを軸に

- MAIL
- スケジュール
- プレゼンス
- インスタントメッセージ
- 資料共有
- オンライン会議
- 電話



「コミュニケーション統合」

PC・スマホ・タブレット
デバイス／場所を問わない
仕事環境の実現

「生産性・業務継続性」向上



あれ、なんかうまくいかないぞ？



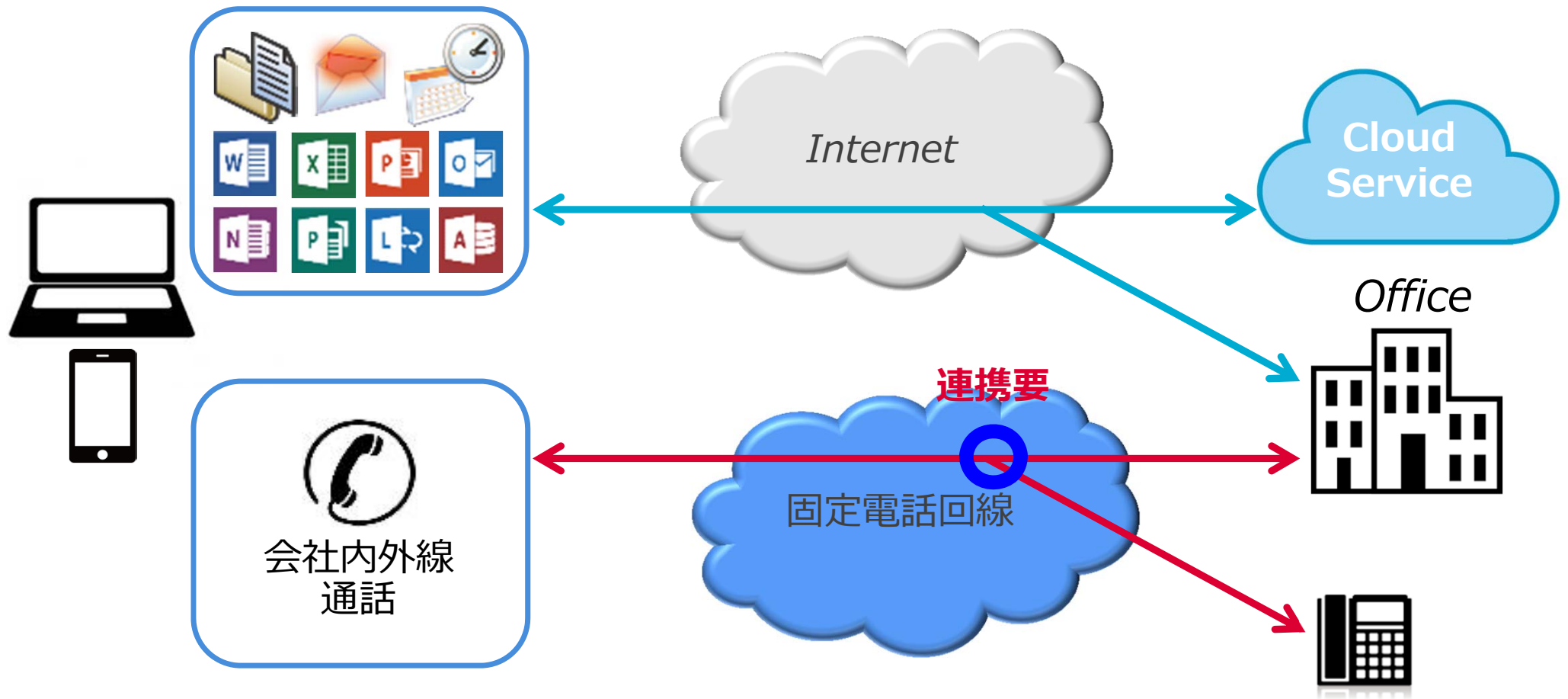
どこにいてもオフィスとおなじ感覚で仕事をしたい、させたい

- 互いの状況を把握したい (*Address Book/Schedule/Presence*)
 - いつも会社のメアドでやりとりしたい (*MAIL*)
 - 社員同士クイックにセキュアにチャットしたい (*IM*)
 - 資料の作成、共有をストレス無く行いたい (*Office/Collaboration*)
 - 迅速に会議を開催、参加したい (*Conferencing*)
- どこにいてもオフィスの電話番号でお客様とやりとりしたい (*外線電話*)
 - どこにいても社員同士は内線でつながりたい (*内線電話*)
 - 取り込み中は、代理応答してほしい、担当に廻したい (*代理応答・転送*)

会社のPBX、契約回線との連携が不可欠

Internetに加え、固定電話回線との連携が必要

Foresight in sight



音声通信における4つのシーン

Foresight in sight

【外出・移動先】
携帯通話



「デバイス」「接続回線」
関係なくいつも
会社の番号が使えるなら
とっても便利！

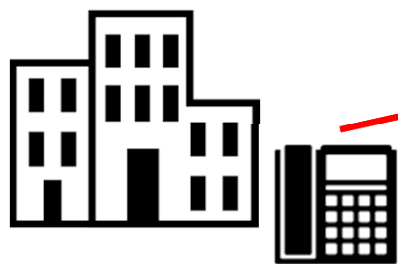
Fixed Mobile Convergence

外線 03-XXXX-XXXX
内線 XXXX

【在宅・サテライト②】
IP通話



【オフィス】
固定回線



【在宅・サテライト①】
固定回線

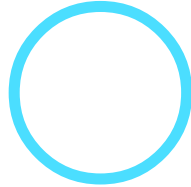


SfBだけだと、IP通話しか行えない

【外出・移動先】
携帯通話



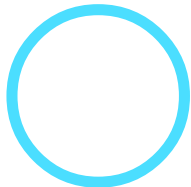
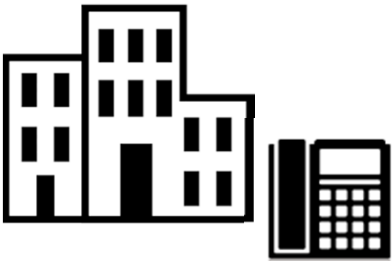
携帯回線でもIP通話のみ
途切れ・片通話・切断



【在宅・サテライト②】
IP通話



【オフィス】
固定回線



インターネット
回線必要

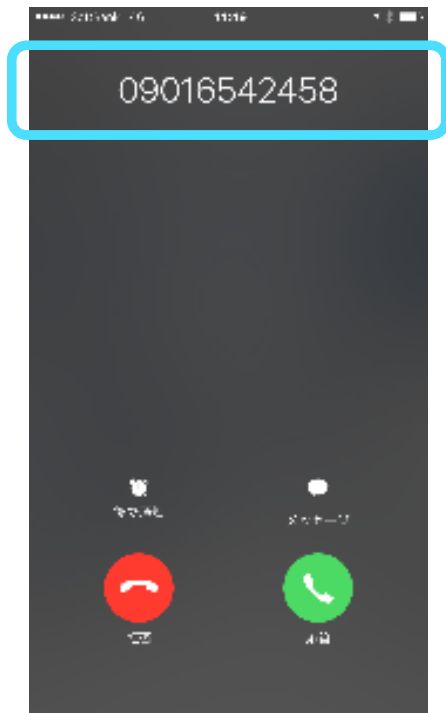


【在宅・サテライト①】
固定回線



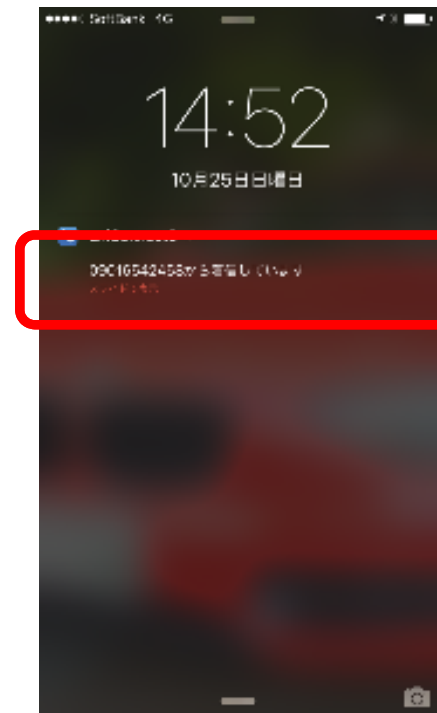


もう1つの課題は、スマホVoIPアプリでの「着信」



【通常着信】

- そのまま着信
- パスコードロックを解除しなくても電話取得可能



【VoIP着信】

- 着信を取るには、
- ①「着信表示」をスワイプ
 - ②パスコードの入力が必要





回線や接続方法に依存せず、どこでも内線／外線通話できないの？
もちろん、電話はメールやチャットと同じコミュニケーション手段
の1つの選択肢。アドレス帳も在席情報も当然統合したい。



生産性
向上



ご提案① *uniConnect 3*

SfBとオフィス電話環境をシームレスに連携させ、
理想的な「どこでもオフィス」を実現しましょう！

「内線/外線番号」を持ち出せるuniConnect

Foresight in sight

仕事に必要な電話機能をスマホで持ち出せます



(個人利用)

090-1234-5678

標準ダイヤラー
Prive Phone Call



携帯電話番号で発信



会社利用

03-1234-5678



uniConnect ダイヤラー
Business Phone Call

会社の固定番号で発信
※所在地の市外局番が使えます

- 私的なTELは、「標準のダイヤラー」から、携帯番号で (090/080)
- 仕事のTELは、「uniConnect ダイヤラー」から、会社番号で (03-XXXX)
- アプリが違うから、自動的に公私の通信費分計も可能

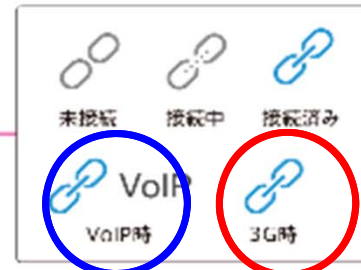
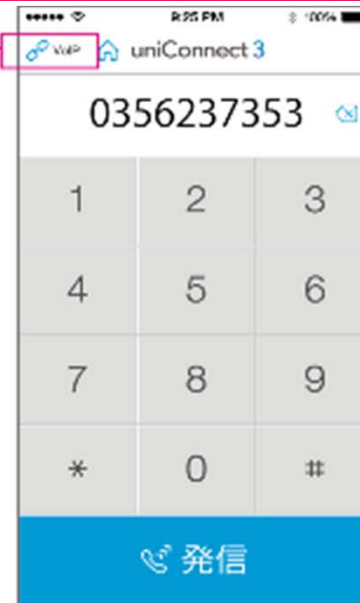
外でも中でも、IPでも携帯通話モードでも

Foresight in sight



電話を発信する際に、電話帳や通話履歴から番号を呼び出すことが多いため、ダイヤラー起動時はキーパッドではなく、メニューが並んだホーム画面が表示されます

不在着信数が表示されます



通話中に VoIPと3Gが切り替わる際、通話は切断されます



連絡先に写真が設定されている場合は、表示されます

着信履歴を表します

発信履歴を表します

ボイスメッセージが残されたことを表します

不在着信履歴は赤字で表示

シーン/用途に合わせて通信方式を選択

Foresight in sight

VoIP通話モード



携帯通話モード



- PHS内線のリプレイス
- 携帯回線契約なし（内勤者等）
- 海外出張で国際ローミング回避

- 外出先/自宅等モバイル利用中心
- 定額契約端末（掛け放題）
- WiFi環境が無い or 使いたくない

AUTO

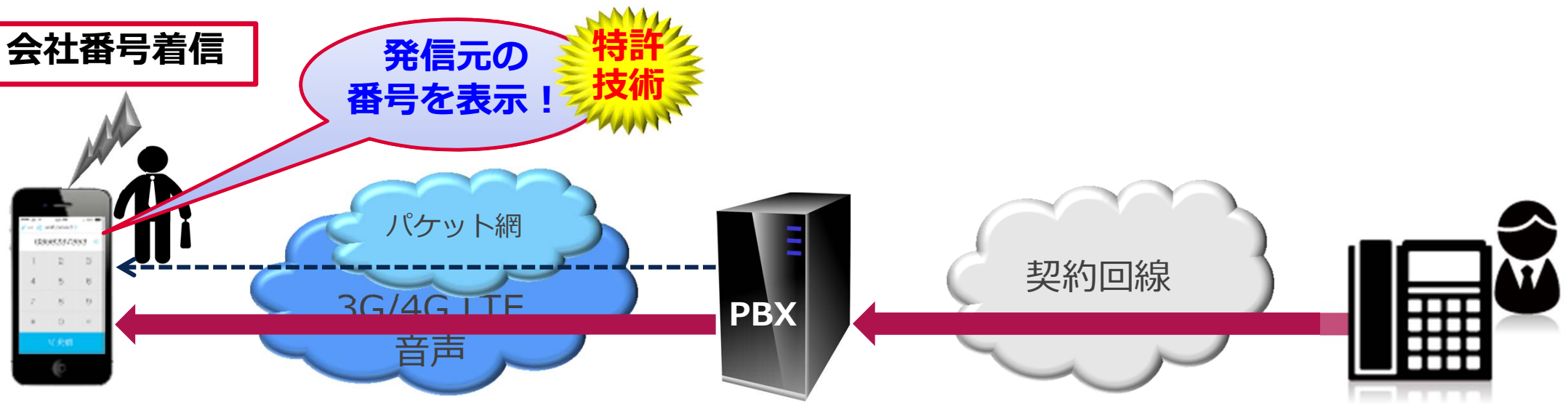
- 外出時は3G/社内ではWiFi（営業マン等）

会社番号での発信と着信

会社番号発信



会社番号着信



uniConnect Dialer ができること

デスクの「固定電話」で出来ることのすべて



会社番号発着信



リダイヤル



保留・転送



ボイスメール



共有アドレス帳



転送設定



コールピックアップ

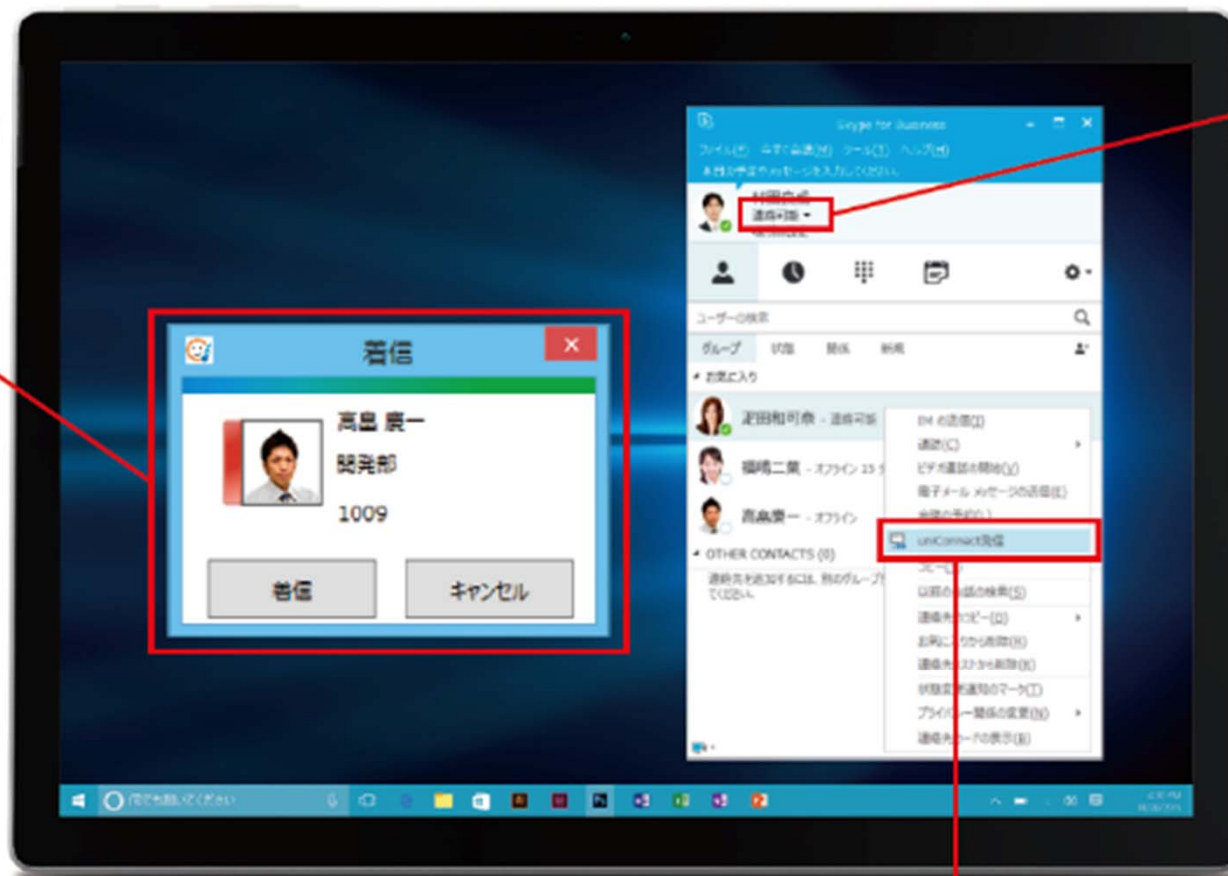


会議通話開催

PC利用時のSfB連携 (UI/プレゼンス)

Foresight in sight

●着信時ポップアップ画面
会社の電話番号での着信
はポップアップでお知らせ



●プレゼンス情報を連携
Skype for Business で管理される
プレゼンスを uniConnect ダイアラー
でも確認

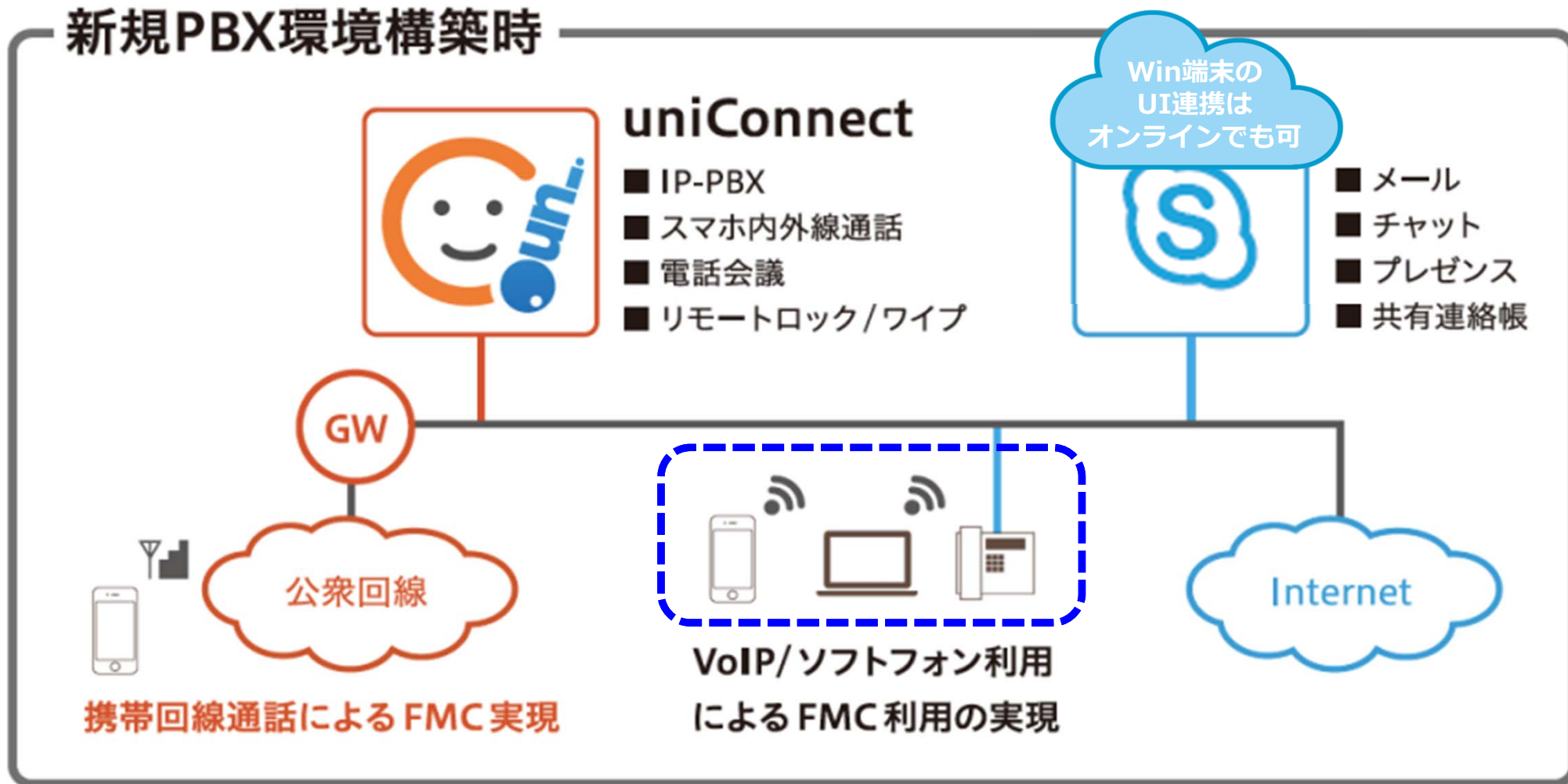


●Skype for Business クライアント
uniConnect 経由で会社番号での発信が可能に

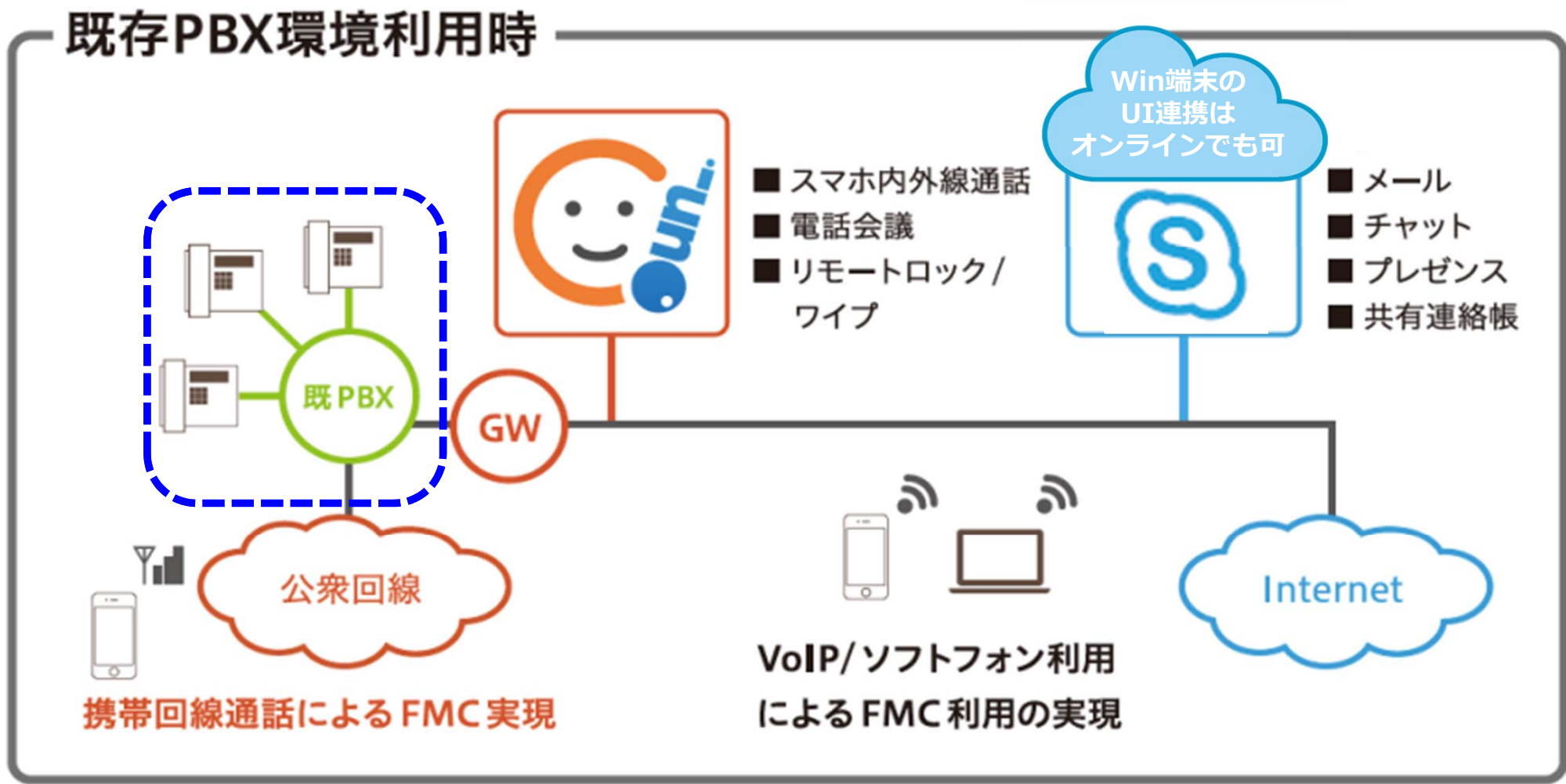
あらゆるデバイスで最適な利用環境を実現

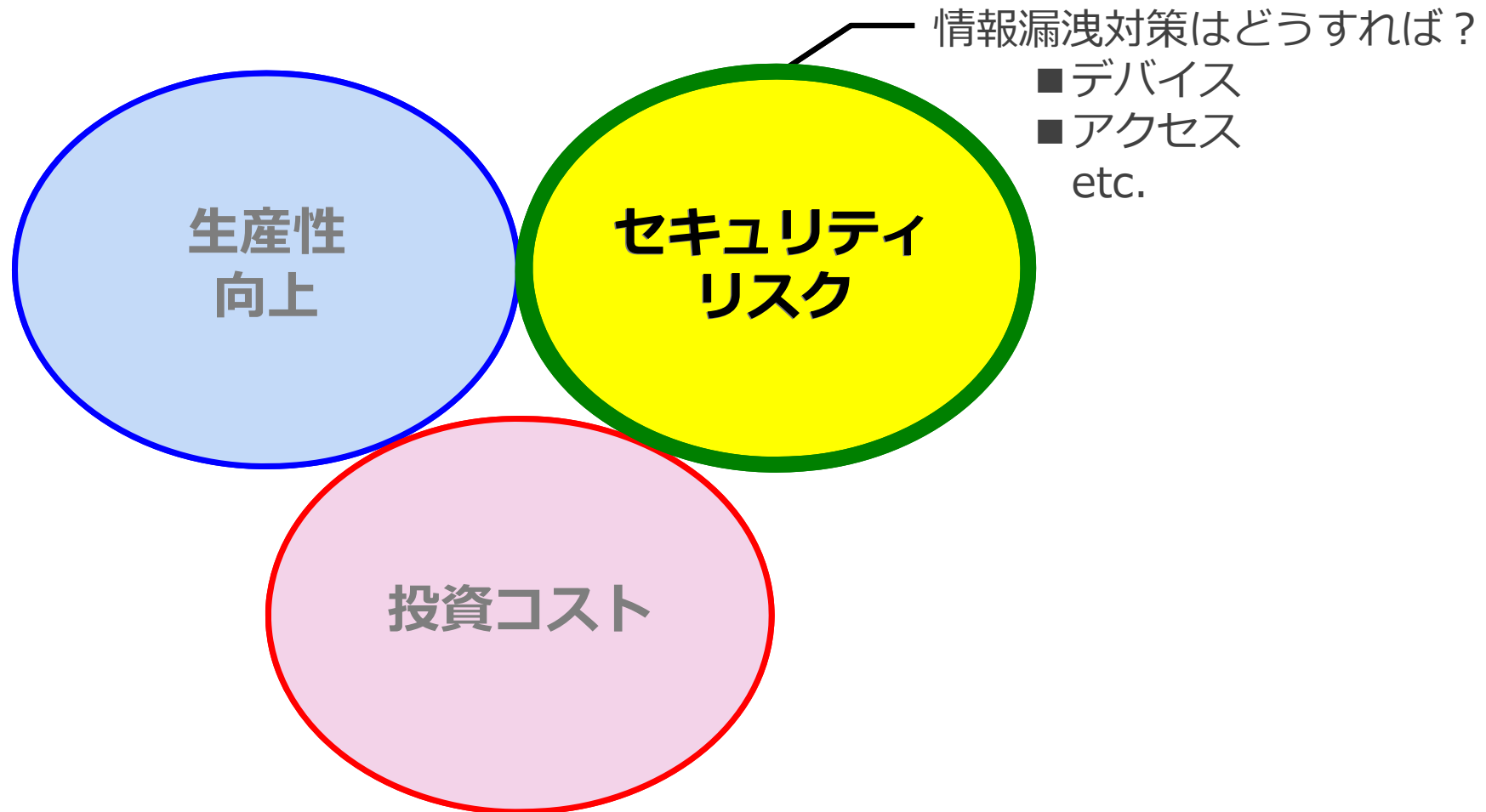
Foresight in sight

新規PBX環境構築時



既存PBX環境との統合も可能





ご提案②

Microsoft Surface 「シンククライアントモデル」の活用

Security

端末をシンククライアントとして利用するためのソフトウェア・モジュールをプリインストールした状態で出荷されるため、迅速に運用を開始できます。

Surface

Surface Pro 4

Surface 3

Surface 3 4G LTE

シンククライアント専用モデル



指紋認証OPTION (なりすましログイン防止)

Foresight in sight

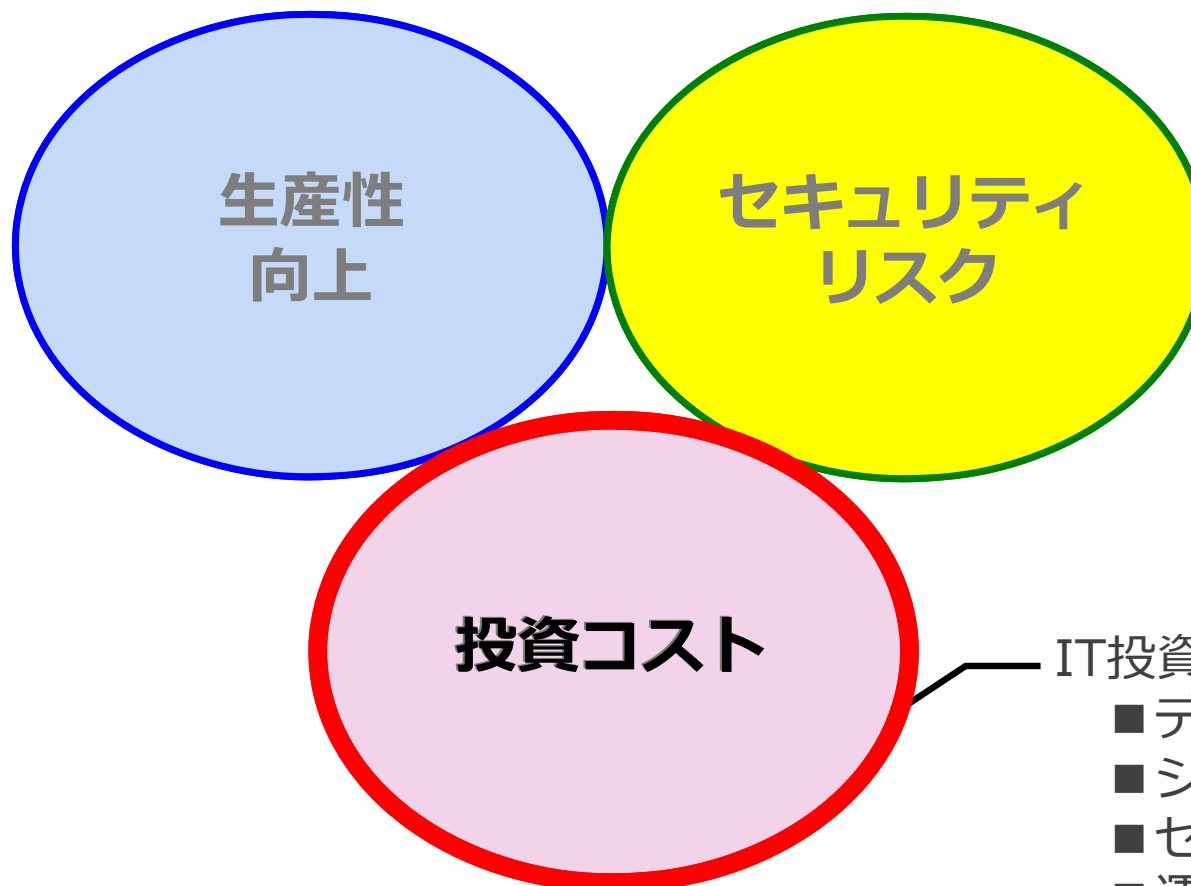
生体認証の活用で、より強固なセキュリティーレベルを実現！



Surface専用開発されたUBF-Hello

指紋認証機能に採用しているDDS社が開発した『UBF-Hello』は、Surfaceの筐体の薄さ、フレームの角度に合わせてデザインされているため、Surfaceの軽さ、持ち運びやすさを損ないません。





IT投資に効果が見合うの？

- デバイスへの投資
- システムへの投資
- セキュリティ投資
- 運用コストの上昇



シンククライアントを配布しちゃうのがもっとも安全なのはわかってる。けれど、VDI環境の構築、維持にはお金がかかりすぎる・・・



COST

ご提案③

アプリケーションのみ仮想化・配信

利用させたいアプリケーションを仮想化し、
既存のファイルサーバから配信

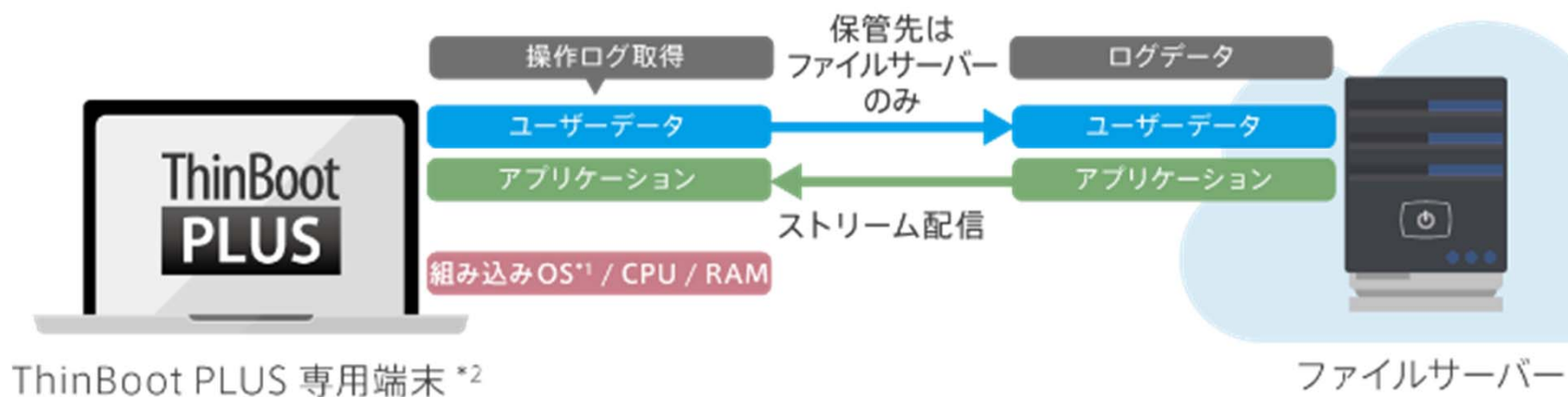
ご提案③ : ThinBoot PLUS

Foresight in sight

■ ThinBoot PLUSとは

- アプリケーションを仮想化・パッケージ化
- サーバーからストリーミング配信
- 端末のリソースを用いて動作。ネットワーク切断中も業務継続可能
- 作成書類は指定されたファイルサーバーにのみ保管
- 操作ログをすべて収集

ThinBoot PLUS

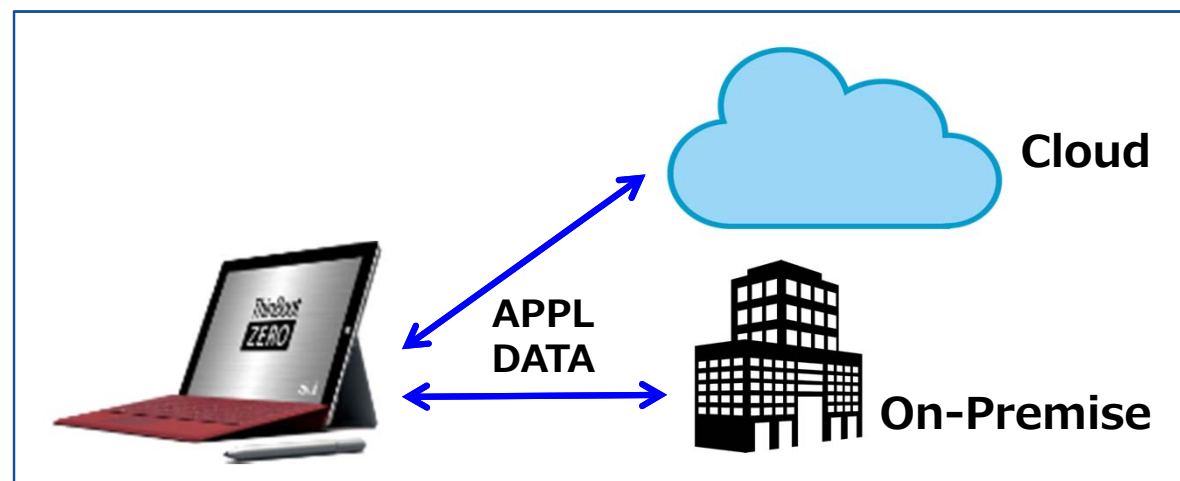
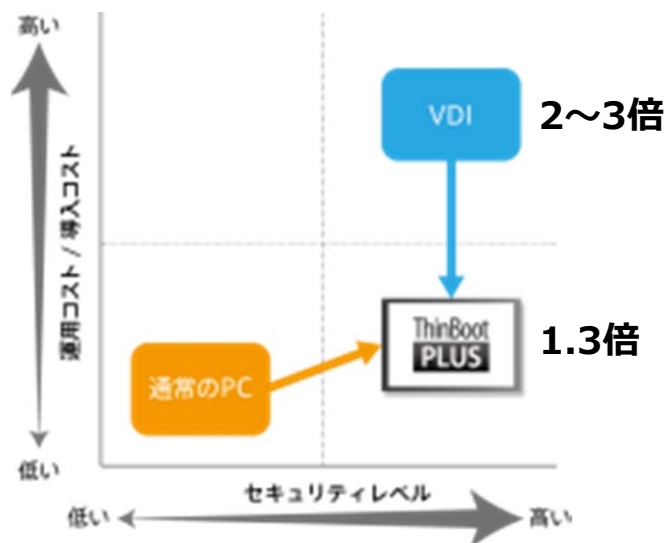


ご提案③ : ThinBoot PLUS

Foresight in sight

- VDI相当の高いセキュリティを通常PCの**1.3倍**程度のコストで実現！
- データの端末**ローカル保存不可**。
- 外部デバイスの**接続不可**。
- データは、指定するサーバにのみ保存。
- **高い運用性**

アプリ配信／データ保存、それぞれ**オンプレミスとクラウド**の両方を指定可能。
端末の**操作ログ**はすべて収集。あらゆるファイルの操作をトレースが可能。



理想的なテレワーク環境を実現するための 3つのソリューション



① 0365/SfBと社内PBXの統合

- IP通話のみに依存しないFMC環境の実現
- アドレス帳/プレゼンス/UI統合



② Surface シンククライアントモデルの活用

- 端末管理/ログ監視ツールあり
- 指紋認証オプションあり



③ コストを抑えたシンククライアント環境の構築

- アプリケーションの仮想化、配信
- クラウド/オンプレいずれも利用可能

生産性
向上

Security

COST

BITS 2016

NIHON UNISYS GROUP BUSINESS & ICT STRATEGY FORUM

Foresight in sight

UNISYS